

那覇市・福州市友好都市 締結25周年「友好の翼」美しい未来へつなぐ末長い交流を



「那覇市・福州市友好都市」訪問団を歓迎して開催された友好都市締結25周年祝賀会で記念品を交換し、友好の絆を確認する那覇市長と鄭松岩福州市長写真左

この記念碑は、これからの両市は勿論、日中両国の新たな友好関係の礎になるものであり、両市の発展と市民福祉の増進を支える象徴にもなるものだと思います。

今回の訪問では、倉山区に象徴されるように高層住宅や工業団地の建設、そして江陰新港埠頭の整備状況など、短期間ではありましたが急成長する中国経済の現状を垣間見ることができました。

訪問全行程を通して感じられたことは、遠来の古くからの友人を迎える温かい気持ちに溢れたものであり、沖縄と中国の歴史的、文化的つながりを改めて確認した訪問となりました。これからは、経済、文化、教育などあらゆる分野での交流の発展の必要性を実感した旅となりました。

（平和交流・男女参画室）

1981年に那覇市と中国福州市が友好都市を締結してから今年で25周年を迎えました。これを記念して、翁長市長を団長とする総勢152人の那覇市「友好の翼」訪問団が11月22日から25日まで福州市を訪れ、福州市民との交流を深めてまいりました。

福州市側は、袁榮祥書記・鄭松岩市長・練知軒主任・陳揚富主席をはじめとする市幹部が勢揃いで公式訪問団を出迎え、「古くからの友人が再会、嬉しい」との書記のコメントに、両市が60年に及ぶ歴史的な絆で結ばれていることを改めて確認することができました。

初日の祝賀会においては、福建省雜伎団による閩劇「牡丹亭」や踊り、歌などが披露され、市訪問団から琉球舞踊がプログラムに加わり、双方の文化芸能を堪能することができました。

2日目は、福州市により修復された「琉球人墓」を参拝し、市の文化財に指定された「琉球人墓」を参拝し先人の霊を慰めました。

その後、今回の訪問のハイライトである閩江公園で行われた友好都市締結25周年記念碑の除幕式では、福州市のご尽力により名産の青石で制作された素晴らしい作品が披露されました。



福州市の閩江公園で行われた那覇市と福州市の友好都市締結25周年記念「記念碑」除幕式に臨んだ翁長市長写真左し鄭松岩福州市長

福州市の閩江公園に「友好の碑」を建立

152人の訪問団が福州市で祝賀宴



勢ぞろいした友好都市締結25周年記念「那覇市・福州市友好の翼」訪問団一行



優雅な琉球舞踊を披露する那覇市の訪問団



大きく発展する福州市を象徴する高層ビル群



福州市の琉球人墓地を参拝する「友好の翼」訪問団のみなさん



かつて琉球王国の使者が逗留した「福州琉球館」を訪れ、両市の永い交流の歴史を再確認



スリランカに「図書館」完成

サウンズレインボーの収益金で市とアジアの人々とともに実行委員会（主催後、平成17年11月26日に開催した「戦後60周年記念事業」Sound Rainbowアジアの人々とともに「天津波地域に教育施設を贈るコンサート」の収益金の一部を活用して、スリランカ国マターラ市のタラッラ北小中学校で進めてきた図書館建設が10月末に終了し、このほどその完成報告書が届きました。

同校は、スマトラ沖地震で被害を受けた子どもたちが通っており、何らかの支援が出来ないかと、現地のNGO団体オウア・ママの会を通して照会していたところ、同校での図書館建設が提案され、支援事業として決定したものです。

多くの市民や事業者の協力で実現に至ったものであり、引き続き、書棚や備品、書籍などの購入の支援や、市内の小中学校との交流の可能性も検討していきます。

お問い合わせ
平和交流男女参画室 ☎861-5195



華やかな中国舞踊で盛大な歓迎をうけた祝賀会



福州市では早朝から市場がにぎわい、公園は健康づくりに励む市民が集う



自動車用コネクターを製造する福州市住電装有限公司（日本との合弁会社）